

田尻 洋一

ピアノ&トークコンサート 第2弾

奈良市北部会館市民文化ホール（近鉄高の原駅より南へ徒歩3分）

たかのほら発
明日へ輝くコンサート
vol.4

2日でよりわかるクラシック入門
～偉大な作曲家たちと
その魅力～

昨年大好評を博したシリーズ第2弾！
クラシックのコンサート、ちょっと敬遠
しているあなた！とっておきのピアニスト
の登場です。分かりやすく楽しいお話し
と心ときめく演奏。田尻ワールドはきっと
あなたを虜にするでしょう！！

Part 1

『あゝわが祖国』

2016年1月17日（日）
開演 14:00（開場 13:30）

Part 2

『ズームインロマン派』

2016年3月6日（日）
開演 14:00（開場 13:30）



チケット：Part1・Part2 各一般 ￥2,000
高校生以下 ￥1,000
Part1・2セット券一般 ￥3,500
（全席自由・税込）

※未就学児入場不可
※セット券は一般のみ、1月16日まで予約・販売
（北部会館市民文化ホールでのみ取扱い）

【チケット発売開始日】 11月7日（土）

【チケット発売場所】 奈良市北部会館市民文化ホール
ローソンチケット（☎0570-084-005 / Lコード 57003）

【主 催】 一般財団法人奈良市総合財団 奈良市北部会館市民文化ホール

【お問合せ】 ☎0742-71-5747（奈良市北部会館市民文化ホール・月曜休館）

田尻洋一 ピアノ&トークコンサート 第2弾

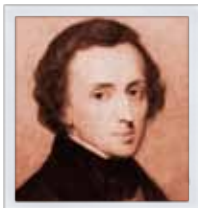
2日でもわかるクラシック入門

～偉大な作曲家たちとその魅力～

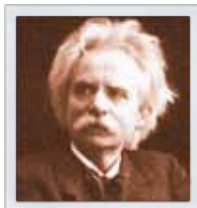
Part 1 『あゝわが祖国』 ～忘れがたきふるさと～ 2016年1月17日(日)



ヨハン・シュトラウス2世
(1825-1899, オーストリア)
『美しき青きドナウ』



フレデリック・ショパン
(1810-1849, ポーランド)
『バラード1番』



エドヴァルド・グリーグ
(1843-1907, ノルウェー)
『ノクターン』



アントニン・ドヴォルザーク
(1841-1904, チェコ)
『スラブ舞曲』



イサーク・アルベニス
(1860-1909, スペイン)
『スペイン組曲より』



セルゲイ・ラフマニノフ
(1873-1943, ロシア)
『鐘』

Part 2 『ズームインロマン派』 ～心の世界・喜びと悲しみと～ 2016年3月6日(日)



フェリックス・メンデルスゾーン
(1809-1847, ドイツ)
『春の歌』



フレデリック・ショパン
(1810-1849, ポーランド)
『華麗なる大円舞曲』



カール・マリア・フォン・ウェーバー
(1786-1826, ドイツ)
『舞踏への誘い』



ロベルト・シューマン
(1810-1856, ドイツ)
『子どもの情景』



フランツ・リスト
(1811-1886, ハンガリー)
『ラ・カンパネラ』

※他にも考えて下さっている演奏曲があります。
お楽しみに!
※曲目は両日とも変更になる場合があります。

直撃インタビュー



Q. 海外の演奏の機会も多いが日本の聴き手との違いは?

A. 皆さん自己中です。専門家の評価やブランドより自身の価値判断がすべて。だから、わたしなんかでもウケています。

Q. 何百回の演奏会の中でもっとも印象に残っているものは?

A. アメリカ公演。スタンディングオベーションとブラボーが凄まじく、その圧倒的な迫力に身の危険を感じて思わず逃げかけた。

Q. 伊丹や明石のコンサートプログラムの秘訣は?

A. リピーターと口コミのお客さまが支えて下さってるから。ただし毎回違うプログラムを準備せねばなりませんから結構大変ですよ(笑)。

Q. 本番連続の生活の中で、健康管理やメンタル面など、気をつけておられることがありますか?

A. コンサート当日も含めてごくごく普通に生活しています←もっともこれができるようになるには年齢がかかります。

Q. 北部会館市民文化ホールのスไตウェイピアノはとて素晴らしい!と聞かれていますが、どのように?

A. 現代流行りのデジタル的な薄っぺらな音ではなく、スไตウェイ本来の奥深い音がします。今や日本国内では貴重? かもしれません。

Q. クラシック以外でお好きな曲はありますか?それをピアノで演奏されますか?

A. TV やラジオで偶然流れてくる昔の流行歌などを聞いてホロリとすることはありますが、ピアノで弾くことはありません。

Q. ご趣味は?

A. 囲碁将棋。スポーツ観戦。

Q. ご家庭ではどんなご主人でしょうか?

A. 料理に掃除、なんでもこなすマイホームパパ。でもどうやらお節介すぎて娘たちにはつれなくされてます。

《プロフィール》

ふつうに田尻洋一

- ♪ 桐朋学園大卒後、渡欧して天才I. ビレット女史の唯一の弟子として研鑽。
- ♪ 96年より主たる古典・ロマン派作曲家のピアノ作品全曲演奏という世界でも類を見ない偉業を達成。
- ♪ 現在まで一期一会の生演奏のみにこだわり続け「心から心へ」をモットーとした真に芸術性の高い真摯なりサイタル活動を展開。国内でのリサイタル数は900を超え、10年より毎年、スイス・アメリカでのリサイタル公演も継続。自らの編曲による交響曲演奏も追隨を許さない。伊丹でのトーク&ピアノシリーズは66回、明石リサイタルシリーズは78回を数えるロングラン。
- ♪ ハエン国際ピアノコンクール(スペイン) 審査員。
- ♪ スไตウェイ本社よりスไตウェイアーティストの称号を授与。



もっと田尻洋一

- ♪ 小学2年の秋よりピアノを始める。ベートーヴェンと誕生日が同じという因縁を信じ、小5の時には悲愴ソナタを奏霧。
- ♪ 中学時代はバレーボールに専念。高校時代に一時ピアノに集中するが、大学では遊び呆け、卒業後、一念発起して芸術の本質探しに没頭、仕事なしの苦しい20代を過ごす。
- ♪ 29歳の時、天才!! ビレット女史に遭い開眼、以後世界随一を目指す。
- ♪ 33歳の時のやっとの初仕事を皮切りに、膨大なレパートリーを携え活動開始。リサイタルだけでその数900を超える。演奏を通して人と触れ合う幸せを実感しつつ現在に至る。